

# 横手市環境保全審議会議事録

日時 平成20年2月14日(木)午後1時30分～3時30分  
場所 本庁南庁舎 公室

## 1、出席者

審議会委員 大部 桂 (横手～学識経験者)  
佐川 君子 (横手～学識経験者)  
西田 貞夫 (平鹿～学識経験者)  
佐々木 秀智 (山内～学識経験者)  
佐々木 巳和子 (横手～婦人代表)  
高山 久子 (大森～婦人代表)  
高橋 梅谷 (十文字～婦人代表)  
小松田 ち糸 (大雄～婦人代表)  
鎌田 勲一 (横手～環境美化推進員等)  
内田 昭一 (増田～環境美化推進員等)  
後藤 正 (平鹿～環境美化推進員等)  
久米 靖穂 (十文字～環境美化推進員等)  
柴田 昭 (横手～企業関係者)  
鶴田 典治 (横手～企業関係者)  
磯部 京悦 (横手～医師会)  
菅原 多一郎 (横手～青少年育成関係者)  
以上16名

欠席された委員 猿橋 晃 (横手～学識経験者)  
大庭 喜美子 (雄物川～婦人代表)  
佐々木 徹 (雄物川～環境美化推進員等)  
阿部 三瑠 (横手～弁護士)  
以上4名

副市長 小野 タツ子  
事務局 佐々木 久雄 (福祉環境部長)  
粕加屋 健市 (環境課長)  
皆川 規和 (環境課環境企画担当チーフ)  
栗谷 淳一 (環境課環境企画担当主査)  
眞田 涉 (環境課環境企画担当副主査)  
柿崎 政人 (環境課環境施設担当チーフ)  
以上6名

(出席者合計人数22名)

- 2、委嘱状交付
- 3、開会
- 4、副市長あいさつ
- 5、委員自己紹介 (名簿順に自己紹介)

6、 会長、副会長の選任

(事務局一任の声あり、事務局：粕加屋課長より提案)

会長・佐川君子委員、副会長・内田昭一委員、全員拍手で承認。

7、 会長あいさつ

8、 議事録署名委員の選任

(事務局一任の声あり、事務局：粕加屋課長より提案)

前回に続き、名簿順に高山久子委員、高橋梅谷委員、異議なしの声で承認。

9、 協議(報告)

1) 市役所率先行動計画について

事務局担当より、資料に基づき説明。

委員 C O 2 を測定する機械はどこに設置しているのか？

担当 測定機械はありません。環境省より示されている数式を用いてC O 2 排出量を換算してあります。

委員 17年度から18年度まで、暖冬の影響で7.7%削減しているが、普通の年であればかなり厳しいのではないかと？

担当 かなり厳しいと考えています。19年度に入ってから、ほぼ前年度並みとなっております。

会長 天気だけは如何様にもしがたい、特に暖房関係については天気に左右されることもある。

委員 コピー用紙について、昨今いろいろ取りざたされているが、横手市としては調べられているか？再生利用率が明記されていないが、その辺を考慮してのことか？影響はあるか？

担当 影響はあったようです。本件に関しましては、環境省からの指導や通知がありますので、市としてもそれに従った対応をすることになると思います。

会長 買っている方は100%と信じて買っているのだし偽装だけはやめて欲しいと思う。

委員 目標等を見ていると、言葉が多くて、数値目標が無いがこれでいけるのかなと思う。グリーン調達について、調達する際の商品の価格が高いのでその辺をどういう形で融合させていくのか、例えば車だったらハイブリット車を購入するとか切り替えるとか、その辺の具体性が無いように思える。

会長 大変貴重な意見と思います。グリーン購入の問題は、今後進める上で検討して欲しいと思う。今後数値目標等出てくるかどうかと言うことも大事なことと思うので努力して欲しいと思う。これを行ったことで市役所での意識が変わったということはあるか？

担当 紙類の再利用・有効利用の推進により、ごみとしての排出が少なくなってきておりますし、また市役所内での分別作業を通して家庭でも注意するようになった等の話を聞いております。

会長 とかくエコがエゴにならないように、頑張ってくださいと思います。

2) 廃棄物中間処理施設設置に関する経緯について

事務局担当より、資料に基づき説明。

会長 この建物がどういう建物なのか、どういう意味で反対なのか、新しく委員になられた方も居られるので簡単に説明してください。

担当 参考資料より概要を説明。  
委員 県内でこういった施設はあるのか？  
担当 県内では同様な施設は無いようです。下水道汚泥のみを堆肥化处理する施設は大仙市西仙北町にあります。  
委員 そういう類の施設か？木材チップを含めた大規模な施設ということか？  
担当 そのようです。  
委員 そこでは、生ごみも取り扱うのか？  
担当 生ごみも取り扱うことになっておりますが、事業系の産業廃棄物で例えば豆腐屋さんのおからのようなものだと思います。  
委員 ここが出来あがれば、市内の生ごみを集めて堆肥化するのか？  
担当 そのようには考えておりません。家庭系の生ごみは一般廃棄物として市の責任で処理することになっております。  
委員 十文字地域局に聞いたところ、ここが出来ると十文字で取り組んできた生ごみの堆肥化を、こっちへ運んで処理されるだろうと聞いていたが。  
担当 生ごみの堆肥化については、大雄堆肥センターもあり、排出を含め収集運搬等の様々な問題も考えられることから、市では平成27年度に統合処理施設の建設を計画している中で、そういったものとの整合性を含めて考えているところです。  
委員 基本的にこれは何のために建てるのか？(市の処理能力が)足りなくなったためか、それとも商売上で建てるのか？  
担当 商売上で建てるということです。会社としては、大張野に木材のチップ化と堆肥化を行う工場を持っておりますが、県南地区に汚泥の堆肥化を含めた工場を建てたいということで進めてきたようです。  
委員 事業そのものとしては、市とは関係ないのか？  
担当 市とは関係ないです。  
委員 事業の許可等や環境問題等について審議するということか？  
担当 県との事前協議等もありますし、地元の方が反対しているということもあります。環境保全という立場での関わりは出てきますが、市としてこの会社を引っ張ってきたという形ではありません。  
会長 通学路にかかるようなことになれば、大変なので充分配慮して欲しいとか、臭いについては、風向きによっても違うが、微々たる事でも特に配慮して説明して欲しいと会社側には要望していたことであつたと思う。この後、どの様に展開していくか、見込みとか分かるか？  
担当 正直言って、今はその辺まで具体的に言っていけない状況ですので、市としましては、住民と会社側と直接話し合えるような場を作りたいと考えております。  
会社側が来ることを前提とした場合、環境保全協定書のより一層の厳格化の必要性もあると考えておりますので、その際には、必要に応じて審議会に内容等をお謀りし、対応していきたいと考えております。

### 3) 横手市地域「循環型社会推進地域計画」の概要について

事務局担当より、資料に基づき説明。

委員 プラスチック類の分別収集まではうまく行っていると思うが、その後のリサイクルはどうなっているのか、東京では燃やして熱回収しているような状況も聞いているが。

- 担当 収集されたプラスチック類は、ペットボトル等処理センターで圧縮梱包し、最終処理はリサイクル協会へお願いしています。集められたものは素材（マテリアル）として利活用（リサイクル）されていると考えています。
- 会長 分別収集された後の追跡は必要と思います。
- 委員 3施設を平成27年度に統合するのか？
- 担当 3施設とも老朽化しているため、新施設稼働後には運転停止する予定です。
- 委員 新施設建設の場所や規模等は決まっているのか？
- 担当 今施設基本計画を策定中で、ごみ焼却施設とリサイクルセンターの建設用地については、処理方法や配置等の検討すべき多くの課題はあると思います。
- 委員 今後の課題であると思うが、大沢の例もあることなので感情に留意して進めて欲しい。建設用地の選定についても、住民に少しずつ情報を公表していったほうが良いと思うが。
- 担当 用地選定について、どこまで公表してよいか、いろいろと微妙な問題もあることなので慎重に充分注意しながら進めたいと思います。
- 会長 充分注意し、また、住民感情も考慮しながら進めて欲しい。因みにごみ量は増えているのか、減っているのか。
- 担当 横ばいで推移しています。
- 会長 繊維のリサイクルはどうなっているのか？
- 担当 古布として、収集されています。内容としてはそのままの状態海外への輸出や工業用のウエスなどの利用、また、最低品質のものについては屋根の下地材として利用されています。
- 委員 (マテリアルリサイクル推進施設)場所はどこに建てるのか？
- 担当 東部環境保全センター敷地内にペットボトル等処理センターがあり、その施設の整備として処理機械を増設しました。ストックヤードの関係上東部環境保全センター跡地を利用し整備することとしています。焼却施設やリサイクル施設は新たに建設することで進めています。
- 委員 古紙の収集について、雨にぬれても良いのか
- 担当 古布も古紙もできれば、雨にぬれないようお願いしています。
- 委員 収集業者が、集積所を散らかしたまま行ってしまう。古布や紙類が濡れてしまうので、業者に指導して欲しい。
- 担当 承知しました。

4) その他 (エコライフ通信・不法投棄一掃大作戦について)  
事務局担当より、資料に基づき説明。

質問等特になし。

委員からの要望

- 委員 特定外来植物の駆除について、市報等に連載して周知紹介して欲しい。必要な資料等はたくさんあるので検討して欲しい。
- 委員 分別が多くなったため、お年寄り等敷地内で燃やす方が多くなった。なかなか感情的な問題もあり注意できないので、お年寄りに出しやすいように検討して欲しい。ごみ袋が小さくなったように感じる。

委員 子供たちへの環境教育の一環として自然観察会等を検討して欲しい。  
会長 意識啓発として、継続した活動が必要だと思う。  
委員 動植物の担当はいるか？出来ればその分野の担当者を置いて欲しい。  
会長 委員のように専門的な部門に強い方も居られるので、お願いすることも良い  
ことと考えます。  
他に質問等なし。

## 7、閉会

平成20年2月21日

議事録署名委員 高山久子

高橋梅谷